

国際交流事後活動ニュース（特別号）

MACRO COSM

◎特集 平成16年度内閣府青年国際交流事業
募集内容について

マクロコズム 2004.3



vol. 57

（財）青少年国際交流推進センター

第30回「東南アジア青年の船」事業



フィリピンでの到着歓迎式にて



▲ 日本では、福田官房長官への表敬



セレモニー

▼ カンボジアへの表敬代表団



「東南アジア青年の船」事業は、昭和49年1月に行われた、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール及びタイの各国と日本との間の首脳会談による共同声明に基づき、アセアン諸国と我が国による青少年国際交流の共同事業として発足したものです。昭和60年度からはブルネイ・ダルサラームを、平成8年度からはベトナムを、平成10年度からはラオス及びミャンマーをそれぞれ加え、さらに、平成12年度からは、平成11年4月にアセアンに加盟したカンボジアを新たに加え、これらアセアン諸国の積極的な参加と協力の下に、日本政府が実施しています。

30回を迎えた今回は、シンガポールでアセアン各国参加青年が参集し乗船した後に、当初のアセアン5か国に寄港して、最後に日本の寄港地活動という日程でした。



日本 ▶



〈各国による文化紹介〉



◀ フィリピン



◀ ミャンマー

船内活動



第30回「東南アジア青年の船」事業



〈ディスカッション〉



〈クラブ
及び自主活動〉



第16回「世界青年の船」事業

第16回「世界青年の船」は、招へいされた12か国の外国青年約140名と約120名の日本青年で構成されており、シンガポールを給油地としてインド、タンザニア、セーシェルを訪問した後に日本に帰国して解散となります。日本参加青年は、事前研修で事業参加に向けての準備をスタートさせました。1月13日外国青年来日を迎えて、8日間の国内プログラムの後、1月21日に横浜港を出港しました。3月3日に帰国します。

▼ 管理官講話



事前研修

▼ 国連大学高橋先生からの講演



◀ グループミーティング

ディスカッション 講座での一コマ ▼



ナショナルプレゼンテーション のためのミーティング





エジプト



▲ インド

都内視察



セーシユル



ニュージーランド



▲ アメリカ



ソロモン



▲ ノルウェー



▼ ロシア

日本に最初に慣れてもらうためのプログラム。
ボランティアメンバーとともに、新しい東京と伝統の街を体験してもらいました。



アラブ首長国連邦

▼ タンザニア



バーレーン

第16回「世界青年の船」国内受入プログラム



▲ ソニーのメディアワールド訪問

▼ 裏千家の茶英会の皆様に指導を受ける



▼ 新宿区立西新宿小学校にて



▲ 毎日新聞社

歌舞伎座 ▼

社会福祉法人「めだかすとりのむ」に訪問 ▼



課題別視察



第30回「東南アジア青年の船」

東南アジアを知る上で、歴史と宗教は決して無視できない。事実、仏教大国であるタイの寺院には世界中から旅行者が訪れるほど広く知られ、インドネシアは人口の9割がムスリムという世界最大のイスラム教国である。私はイスラム教の多くを知らなかった。いや、ほとんど無知だったといってもいいかもしれない。そんな私がムスリム（イスラム教徒）の参加青年とイスラム教について語り明かした夜、そのほとんどを理解できなかった。理解する為のごく基本的な知識さえもその時の私には持ち合わせていなかったからである。しかし、そんな私に対してそのムスリムの青年は私の様々な質問に一つ一つ丁寧に答えてくれ、そして私の考える日本人の宗教観について熱心に耳を傾けてくれた。知識を深めるためにイスラム教を知ろうとすることは、他の宗教をも知ることでもあった。そしてまた、イスラム教という切り口からそれだけに留まらず、世界史、中東問題、アメリカ、イラク戦争と、いままさに世界で起きている多くの重要な問題にまで知識と興味は広がっ



▲ ホストファミリーとともに

ていった。

今まで自分が知っていたことは、知るべきことのほんの僅かにすぎない、そう強く感じた。今回の経験を通して、「知るべきこと」を感じることができたと思っている。これからは、本事業で感じたことを大切に、少しでも東南アジアと日本、世界のために関わって生きて行きたいと熱く希望に燃えている。



第30回「東南アジア青年の船」

運 航：9月2日(火)～10月14日(火)

	(入 港)	(出 港)
横 浜 (日本)		9月 2日
シンガポール (シンガポール)	9月 9日	9月14日
ジャカルタ (インドネシア)	9月16日	9月19日
ポートクラン (マレーシア)	9月21日	9月25日
バンコク (タイ)	9月28日	10月 2日
マニラ (フィリピン)	10月 6日	10月 9日
横 浜 (日本)	10月14日	

日本国内活動：10月14日(火)～10月24日(金)
 帰国後研修：10月24日(金)～10月25日(土)

(注) 各国NLは8月30日に来日し、日本青年と共に9月1日に乗船。
 外国青年は9月9日に、シンガポールに参集し乗船。
 各国NL及び各国青年は、日本国内活動後10月24日に帰国。
 ブルネイ、カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナムには、
 代表団が航空機で訪問。



「東南アジア青年の船」に参加して

～10年後の自分～

第21回「東南アジア青年の船」参加青年 篠崎 浩信

▼ 筆者中央



▼ バレーボール



2003年は「日本 ASEAN 交流年」であり、自分にも何かできるのではと考え、日本・カンボジア外交関係樹立50周年を記念して首都プノンペンで開催された「スポーツを通じた青少年・指導者育成の祭典」に、日本側参加者のコーディネーターとして参加しました。5年前、青年海外協力隊で中東のシリアで活動中に開催した「日本フェスティバル」の経験や、去年30回を迎えた「東南アジア青年の船」の受入実行委員として活動した経験を役立てることができました。

このイベントは、マラソンランナーとして有名な有森裕子さんが代表を務め、設立したNPO法人「ハート・オブ・ゴールド」とカンボジア政府が協同で開催し、現地の青少年育成事業ならびに体

育・スポーツ振興への協力とともに、スポーツ活動を通じた両国の相互理解を促進することを目的に行われました。会場は日本の協力により建設されたオリンピックスタジアムでおこなわれ、サッカー、バスケットボール、バレーボール、バドミントン、ソフトテニス、ペタンク、柔道、空手と、幅広く指導者やスタッフが日本から集まり、カンボジアの小中学校の生徒1,600名と教師120名と交流しました。

特に印象深かったのは、このイベントが多くの方々との協働で行われたことです。国連人口基金（UNFPA）の協力を得て参加者全員でHIV/AIDS予防に関する知識と意識の共有をゲーム形式でおこない、カンボジアが抱える問題について考えま

した。また岡山県スポーツ国際交流推進機構が主催し、岡山県内の6大学（岡山大、県立大、ノートルダム清心女子大、美作大、岡山理科大、同大専門学校）の学生30人と先生方がボランティアスタッフとして、指導や子ども達の誘導に携わりました。言葉が通じなくてもスポーツを通じて心で通じることができるはず、「みんなで子どもたちのわくわく先生になろう」を合言葉に頑張りました。指示を出そうにも、まったく通じない（クメール語）状況に戸惑っていたスタッフも、子どもたちの素朴さに触れ仲良くなるうちに、笑顔が輝いていました。現地で活動する青年海外協力隊員の協力も大きなものでした。現地での生活を生かして通訳として活躍するとともに、自分の技術を生かして、会場から岡山市の小学校6年生とインターネットライブ授業をしたり、カンボジアの参加者に盆踊りを紹介し体験させるなど大いに盛り上げてくれました。岡山県内の小中学校も、使用済みのバレーボールやバスケットボールを寄付してくれるなど、興味をもって協力してくれました。なんでこんなにも多くの方が協働しているのだろうと驚くほどでした。そこには、人的ネットワークの素晴らしさと、交流活動に参加してくれる人々の熱い思いがありました。

カンボジアの先生たちが、日本のスタッフと協

力して一生懸命に子どもたちを指導する姿をみながら、この国の可能性を感じずにはられませんでした。朝早い開会式のため、お腹をすかした生徒にパンを買い、ちぎって渡し歩いている先生の姿を微笑ましいなぁと思いながら、「あなたがたがこうして来てくれたことにより、この国が安全であることを証明することができました」というスピーチに、この国の抱える問題を考え直さずにはられませんでした。

今年は、自分が「東南アジア青年の船」に参加して10年目になります。応募した時の作文や参加した後の感想文を振り返ってみると、あのときの自分の新鮮な気持ちに触れることができ、船に参加したことは自分にどんな影響を与えたのだろうかと考えるようになりました。船を下りる前に、地平線に沈む夕日をみながら、10年後、自分たちはいったい何をしているかな。自分の可能性を信じて頑張ろうと、励ましあったことを思い出します。

あの時の自分と変わったこと、それはあの時に得たいろいろな感激をもとに、自分の世界を外にも内にも広げたこと。次世代を担う青少年の健全育成を願う気持ちは、どの国でも同じです。これからもそんな場所で「一隅を照らす」そのような活動ができればと考えています。



◀ テニス指導

「プロミス」上映会・講演会を開催して

2000年度ヨルダン派遣団 渡辺 直子

京都 IYEO は、昨年 11 月 29 日にパレスチナ問題を追ったドキュメンタリー映画「プロミス」の上映会と青年海外協力隊としてヨルダンで活動された方の講演会を行った。

この企画が持ち上がったのは、5 月頃。京都 IYEO で年間のイベント計画を立てた時、東京都 IYEO で行われたプロミス上映会が好評だったと聞き、それを関西圏の京都 IYEO でも行おうと決まった。

8 月、(財)京都府国際センターの助成金を申請するために、日時、会場、講演者などの大枠を至急決めなければいけなくなった。会場は、3 か月以上先でも京都駅周辺施設は土日曜の昼の時間帯が満室で、辛うじて空いていた 18 時半からの 3 時間を予約した。次の課題は、講演者の決定である。その頃ちょうど京都でパレスチナ問題の講演が開かれるという情報が目にとまり、その方に私達のイベントでも講演頂けるかと連絡を取ったところ、快諾して下さった。わずかの間でイベントの基本部分を決定することができ、あとは広報に全力を注ぐことになった。

広報は、IYEO 会員と一般の人の目に止まる手段は全て活用した。まず IYEO へはメーリングリスト、会報誌、全国大会で案内し、また推進センターからは関西地区にチラシを送付してもらった。一般へは、新聞各紙掲載、国際交流施設へのチラシ設置やイベント情報紙の記事掲載、京都で活動する他の国際交流団体から各メンバーへチラシを



送付してもらった。また今まで国際交流のイベント＝広報先は国際交流施設や青少年活動施設関係という考えを離れて、ジャンルは問わずイベント広報をできそうな場所を考えた結果、若者が集まる何軒かのカフェにチラシを置かせてもらった。また京都 IYEO のメンバーには教職関係者が多く、学校の先生へ案内することもできた。

イベント 3 週間前の時点では、申込み人数が 25 人しか集まっていなかったが、2 間前から急に申し込みが殺到し、当初の参加者目標 50 人を超え、最終的に申込者は 100 人以上となった。今

までイベントの広報は、クチコミが一番効果があると思っていたが、皆で時間をかけ様々な手段を使えば、クチコミ以外の広報でも有効なんだと実感した。また、月1回の京都IYEOの定例会では、パレスチナ問題に関する勉強会を行った。パレスチナ問題の原因や近況などについてみんなと知識を深め、イベント開催にやる気を備えた

待ちに待ったイベント当日はあいにくの雨。にも関わらず、会場には小学生からご年配の方まで100人近い人々が集まって下さった。

第1部の映画上映では、パレスチナ、イスラエルの子供達の無邪気な場面での会場の人々の笑顔を見、最後の子供達の話し合いの場面ではスクリーンを真剣に見つめている表情を見て、本当にこの上映会を開いて良かったと思った。参加者からは、「実際にパレスチナ人、イスラエル人の生活がリアルに伝わった」、「子供達の力で自分の意見を伝えあって交流する姿に、未来に少し希望がみえたような気がする」、「子供達の子供達らしく自分の幸せな未来を描ける日が一日でも早く訪れること

を希望としたい」との感想を頂いた。また12歳の参加者の感想には、「アラブ人とユダヤ人がお互い相手を恨んでいるけど、子供達は心からそう思っていない事がはっきりと分かった。みんな、同じ人間というのが心に残った。」とあった。難しい問題であるが、映画を通して同じ子供達にも伝わるメッセージがあり、数多くの子供達にこの映画を見る機会があってほしいと感じた。

休憩時間には、フェアトレードで輸入されたパレスチナ製品を販売した。製品を作ったパレスチナの人々に貢献したいと思ったからである。オリーブオイル、そのオイルで作った石鹸やクッキーなどを用意した。これらの製品は皆さんに好評でほぼ完売した。

第2部の講演では、写真やクイズなどを交えながら、アラブ社会やパレスチナ問題について分かりやすくお話いただいた。参加者からは、「パレスチナ問題についてメディアを通じての知識だけだったのが、その地で生活なさった方から直接話が聞ける貴重な機会だった」「青年海外協力隊に

興味を持った」との感想をいただいた。

このイベントが成功したのは、京都IYEOのスタッフ、そして広報活動に協力して下さった様々な人々の力が集まったからだと思う。皆の力を合わせて、パレスチナ問題を考える機会を作ることができて本当に良かった。これからもこのプロミス上映の輪が全国に広がっていくことを願っている。



～平成16年度内閣府青年国際交流事業参加青年募集特集～

日本参加派遣青年の募集を行う平成16年度内閣府青年国際交流事業一覧

事業名	事業の内容
国際青年育成交流	<ul style="list-style-type: none"> ● 皇太子殿下の御成婚を記念して、平成6年度から開始 ● 日本青年の海外派遣及び外国青年の日本招へいの2つの事業から構成 ● 当時皇太子殿下であられた今上陛下の御成婚記念事業として昭和34年度から開始された「青年海外派遣」事業及び昭和37年度から開始された「外国青年招へい」事業を継承発展 ● ボランティア活動、福祉活動、伝統文化等の共同体験交流を中心とした拠点滞在型の国際交流活動を実施 ● 日本青年約60名を世界5か国に23日間派遣、世界11か国から外国青年約100名を21日間招へい
日本・中国 青年親善交流	<ul style="list-style-type: none"> ● 日中平和友好条約の締結を記念し、日本と中国両国政府の共同事業として昭和54年度から開始 ● 日本青年約30名を19日間派遣、中国青年約30名を19日間招へい
日本・韓国 青年親善交流	<ul style="list-style-type: none"> ● 昭和59年の日本・韓国共同声明及び昭和60年の日韓国交正常化20周年を踏まえ、日本と韓国両国政府の共同事業として昭和62年度から開始 ● 日本青年約30名を15日間派遣、韓国青年約30名を15日間招へい
世界青年の船	<ul style="list-style-type: none"> ● 明治百年事業の一つとして昭和42年度から実施してきた「青年の船」事業を改組し、昭和63年度から開始 ● 日本青年約120名と訪問国を含む世界各国12か国の青年約130名が43日間船内で共同生活をしながら、世界的視点に立って共通の課題の研究・討論、各種の講義、スポーツなどの交流活動を行うとともに、訪問国では現地青年との交流活動を実施 ● オセアニア及び北・中・南米方面と南西アジア、アフリカ、中近東方面を隔年で訪問
東南アジア青年の船	<ul style="list-style-type: none"> ● アセアン各国と日本との間の共同声明に基づいて、昭和49年度から開始 ● アセアン10か国の青年約300名と日本青年約40名が8日間の日本滞在プログラムと43日間の船内での共同生活をしながら、アセアン各国及び日本を訪問

(派遣青年の募集・選考について)

内閣府で実施する青年国際交流事業のうち、一般募集を行って日本参加青年を派遣する事業は、上記の5事業です。都道府県での選考を経たのちに内閣府での最終選考が行われます。

都道府県における選考方法及び選考期日は、それぞれ異なりますので、P.19を参照されてお問合せのうえご確認下さい。

都道府県 IYEO による募集説明会及び事業報告会のお知らせ

都道府県	プログラム名	日時	会場	連絡先
静岡県	募集説明会及び報告会	3月13日(土) 14:00～ 16:00	静岡県男女共同参画センター あざれあ 502 会議室 (JR 東海道線 静岡駅徒歩5分)	静岡 IYEO 事務局(担当:太田) (Tel: 0547-32-0256) (E-mail: tasayaka@hotmail.com)
徳島県	募集説明会及び報告会	3月13日(土) 18:30～	徳島県青少年センター4F 第一セミナー室	徳島 IYEO 会長 藪田ひとみ (E-mail: hitomi@mandala.ne.jp)
愛知県	帰国報告&事業説明会	3月21日(日) 13:00～ 16:30	ウィル愛知2階 セミナールーム6 名古屋市東区上堅杉町1番地 (地下鉄名城線 市役所駅②出口 東へ徒歩10分) (URL: http://www.will.pref.aichi.jp/) Tel: 052-962-2511	愛知 IYEO (担当:井田:02年中国派遣) (Tel: 090-1096-8640) (E-mail: idaten1974@yahoo.co.jp)
兵庫県	募集説明会 及び帰国報告会	3月13日(土) 18:00～ 21:00	神戸クリスタルタワー7階会議室 神戸市中央区東川崎町1-1-3 (JR 神戸線 神戸駅徒歩5分)	兵庫 IYEO 事務局(担当:中島(なかしま)) (Tel: 090-8483-4877) (E-mail: kenta@letter.or.jp)
奈良県	募集説明会	3月13日(土) 14:00～ 16:00	奈良県婦人会館 近鉄奈良駅徒歩5分 奈良県文化会館横	奈良 IYEO 会長 喜多 (Tel: 090-3844-2232) (E-mail: kita3104@hotmail.com)
千葉県	事業説明会 2004	3月14日(日) 14:00～ 16:00	千葉県青少年女性会館 千葉都市モノレール2号線 スポーツセンター駅	千葉 IYEO (担当:飯島) (Tel: 090-8810-7475) (E-mail: teruzo@nyc.odn.ne.jp)
三重県	募集説明会及び報告会	3月13日(土) 14:00～ 15:00	アスト津3階 市民交流スペース	三重 IYEO 事務局(担当:中川) (E-mail: yokes333@yahoo.co.jp)
広島県	募集説明会及び報告会	3月14日(日) 15:00～	ひろしま国際センター 交流ホール(小) (広島市中区中町8-18 クリスタルプラザ6階)	広島 IYEO 会長 林 (Tel: 082-295-6442) (E-mail: a-rin884@sea.plala.or.jp)
京都府	募集説明会及び報告会	3月13日(土) 18:30～ 20:30	キャンパスプラザ京都 2階第3会議室	京都 IYEO 派遣事業部部长 二宮紀子 (Tel: 090-5961-7184) (E-mail: age@mx.biwa.ne.jp)

平成16年度内閣府青年国際交流事業の参加青年募集概要

内閣府の行う青年国際交流事業は、諸外国の青年との交流を通して、相互の理解と友好を促進し、広い国際的視野と国際協調の精神を有する次代を担うにふさわしい青年の育成を目指しています。

全国の青年の皆さんが、事業の参加後、国際社会の各分野で活躍されるとともに、その経験をいかして地域、職域などにおいて国際交流活動、青少年活動などを活発に行い、社会に貢献されることを期待しています。

平成16年度の募集概要は以下のとおりです。

	国際青年育成交流	日本・中国 青年親善交流	日本・韓国 青年親善交流	世界青年の船	東南アジア青年の船
訪問国	ドミニカ共和国、ハンガリー、ヨルダン、モロッコ、ミャンマー（うち1か国）	中国	韓国	オーストラリア、フィジー、ニュージーランド [中近東、アフリカ、ヨーロッパ、北米、中米、南米、オセアニア地域の青年約140人と共に船内で共同生活をしながら各国を訪問]	東南アジア諸国 [東南アジア10か国の青年約300人と共に船内で共同生活をしながら各国を訪問]
実施時期（期間）	平成16年9月7日～29日（23日間）	平成16年9月11日～29日（19日間）	平成16年9月7日～21日（15日間）	平成17年1月19日～3月2日（43日間）	平成16年9月1日～10月21日（51日間）
募集人員	各12人	一般団員：中国 25人 韓国 25人 渉外団員：各2人		約120人	約40人
資格要件	国籍	日本国籍を有すること。			
	年齢	18歳～30歳 （昭和48年4月2日～昭和61年4月1日生まれ）	一般団員：18歳～30歳 （昭和48年4月2日～昭和61年4月1日生まれ） 渉外団員：概ね25歳～35歳	18歳～30歳 （昭和48年4月2日～昭和61年4月1日生まれ）	18歳～30歳 （昭和48年4月2日～昭和61年4月1日生まれ）
	青少年活動等	帰国後もその経験をいかして国際交流活動、青少年活動等を活発に行える者			
	語学力など	一般的な教養があり、交流活動を円滑に行える英語力を有すること。	訪問国の公用語による簡単な日常会話能力があれば望ましい。 渉外団員：訪問国の公用語で任務を遂行できること	一般的な教養があり、交流活動を円滑に行える英語力を有すること。	
その他	国の行う同種の事業に参加したことのある者は応募できません（ただし、渉外団員への応募はこの限りではない）。※				
研修	事前	平成16年7月12日～17日		平成16年9月12日～17日	平成16年7月3日～8日
	出発前	平成16年9月5日～6日		平成17年1月15日～18日	平成16年8月29日～31日
	帰国後	平成16年9月30日～10月1日		—	—
個人負担額	約8万円			約20万円	約20万円
	〔内訳〕 研修費（事前、出発前、帰国後）、及び食費、渡航手続費用など（上京・帰郷旅費、旅行保険料等は、別途負担となります。）				
応募窓口	在住都道府県の青少年対策主管課（室）〔参加申込書、作文等を提出していただきます。〕				

●訪問国、日程等は、国際情勢により、変更することがあります。

内 閣 府（青年国際交流担当）

〒100-8970 東京都千代田区霞が関3-1-1 TEL(03)3581-1181（月～金 9:30～17:45）

ホームページ <http://www8.cao.go.jp/youth/bosyu.html>

平成16年度内閣府青年国際交流事業都道府県担当課一覧

都道府県及び 政令指定都市	主 管 課 (室) 名	電 話 番 号 (*直通)	募 集 期 間	中 間 選 考 日
1 北海道	総務部知事室国際課	011-231-4111 (21-226)	3/ 1~4/ 1	書類選考
2 青森県	環境生活部青少年・男女共同参画課	017-734-9224 *	3/ 1~4/ 2	4/16
3 岩手県	環境生活部青少年・男女共同参画課	019-629-5348 *	3/ 1~4/ 2	4/16
4 宮城県	環境生活部青少年課	022-211-2558 *	3/ 1~31	4/16
5 秋田県	生活環境文化部県民文化政策課	018-860-1552 *	3/10~4/ 9	4/16
6 山形県	文化環境部文化振興課	023-630-2101 *	3/ 1~4/ 2	4/14
7 福島県	生活環境部県民環境総務領域	024-521-7187 *	3/ 3~4/ 5	4/16
8 茨城県	女性青少年課	029-301-2183 *	3/ 1~31	4/16
9 栃木県	生活環境部女性青少年課	028-623-3075 *	3/ 1~26	4/14
10 群馬県	保健福祉部青少年こども課	027-226-2628 *	3/ 1~4/ 7	書類選考
11 埼玉県	総務部青少年課	048-830-2912 *	3/ 1~31	4/10
12 千葉県	環境生活部県民生活課	043-223-2330 *	3/ 1~29	4/15
13 東京都	教育庁生涯学習スポーツ部社会教育課	03-5321-1111 (53-861)	3/ 1~4/ 1	書類選考
14 神奈川県	県民部青少年課	045-210-3844 *	3/ 1~3/24	4/11
15 山梨県	企画部県民室青少年課	055-223-1357 *	3/ 1~3/30	4/ 9
16 新潟県	福祉保健部児童家庭課	025-280-5214 *	2/23~3/26	4/15
17 富山県	厚生部児童青年家庭課	076-444-3136 *	2/23~3/24	4/16
18 石川県	県民文化局国際課	076-225-1381 *	3/10~4/ 9	4/18
19 福井県	県民生活部青少年・県民安全課	0776-20-0297 *	3/ 1~4/ 7	4/15
20 長野県	社会部青少年家庭課	026-232-0111 (2356)	3/ 1~31	書類選考
21 岐阜県	地域県民部青少年室	058-272-1111 (2422)	2/24~3/24	4/14
22 静岡県	教育委員会事務局青少年課	054-221-3704 *	3/ 1~26	4/ 9
23 愛知県	県民生活部社会活動推進課	052-954-6175 *	3/ 8~4/ 2	書類選考
24 三重県	生活部青少年育成チーム	059-222-5986 *	3/ 1~31	4/ 9
25 滋賀県	政策調整部青少年室	077-528-4661 *	3/ 1~31	4/18
26 京都府	府民労働部青少年課	075-414-4305 *	3/ 1~31	4/13
27 大阪府	生活文化部子ども青少年課	06-6941-0351 (4844)	3/ 1~26	4/ 9
28 兵庫県	県民政策部県民文化局青少年課 明兵庫県青少年本部事業推進部国際交流担当(選考試験)	078-362-3143 * 078-360-8581 *	2/27~3/26	4/ 8
29 奈良県	福祉部こども家庭局青少年課	0742-27-9891 *	3/ 1~4/ 7	書類選考
30 和歌山県	環境生活部共生推進局青少年課	073-441-2503 *	3/ 1~31	4/11
31 鳥取県	企画部協働推進室	0857-26-7076 *	3/ 1~31	4/14
32 島根県	環境生活部国際課	0852-22-6464 *	3/ 1~31	4/16
33 岡山県	生活環境部青少年課	086-226-7315 *	3/ 1~31	書類選考
34 広島県	環境生活部青少年室	082-228-9335 *	3/ 8~4/ 7	4/15
35 山口県	環境生活部県民生活課	083-933-2634 *	3/ 1~31	4/12
36 徳島県	県民環境部青少年育成チーム	088-621-2204 *	3/ 1~31	4/11
37 香川県	総務部青少年・男女共同参画課	087-832-3195 *	3/ 1~4/ 7	4/18
38 愛媛県	県民環境部県民協働局県民活動推進課	089-912-2415 *	3/ 1~4/ 2	4/16
39 高知県	文化環境部国際交流課	088-823-9605 *	3/ 1~31	4/ 8
40 福岡県	生活労働部青少年課	092-643-3387 *	3/ 1~4/ 2	4/16
41 佐賀県	厚生部児童青少年課	0952-25-7055 *	3/ 1~31	4/ 9
42 長崎県	教育庁生涯学習課	095-822-9410 *	3/ 1~4/ 7	4/15
43 熊本県	環境生活部交通安全・青少年課	096-383-1111 (7408)	3/ 8~4/ 2	4/16
44 大分県	生活環境部青少年・男女共同参画課	097-536-1111 (3072)	3/ 1~4/ 2	4/12
45 宮崎県	生活環境部女性青少年課	0985-26-7041 *	3/ 1~31	4/12~16
46 鹿児島県	環境生活部青少年男女共同参画課	099-286-2557 *	3/ 1~26	4/16
47 沖縄県	福祉保健部青少年・児童家庭課	098-866-2174 *	3/ 1~3/31	4/20

国際青年育成交流事業討議セッション(第2回) 募集概要

I 概 要

1 目 的

国際青年育成交流事業(外国青年招へい)のプログラムの一環として、世界11か国から招へいた外国青年と、国際的な問題に関心の深い日本青年とが、テーマごとのグループに分かれて率直な意見交換を行うことにより、それぞれのテーマについて、日本独自の考え方、あるいは、全世界で通用する考え方がどのようなものかという認識を深め、国際的対応力を身につける機会とします。

2 事業の概要

- (1) 開催期間 平成16年7月17日(土)～7月21日(水)までの5日間
- (2) 会 場 独立行政法人 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)
- (3) 参 加 者
- ア 日本青年 約60名(内閣府により、応募者の中から選考。)
- イ 外国青年 約100名(「国際青年育成交流事業(招へい)」に参加している11か国の青年
(カナダ、チリ、ドミニカ共和国、ハンガリー、ヨルダン、リトアニア、モンゴル、モロッコ、ミャンマー、ノルウェー、セネガル))
- (4) プログラム内容
- テーマ別に分かれたグループごとのディスカッションを中心として、それぞれの分野の知識を深めるとともに、異文化を理解します。プログラムを通してディスカッションの進め方やコミュニケーションの技術、発表方法などを身につけられるようにします。

	日 程
7月17日(土)	日本参加青年オリエンテーション、ディスカッション講座、ディスカッション準備
7月18日(日)	外国青年との交流会、グループ別ディスカッション
7月19日(月)	グループ別都内視察
7月20日(火)	グループ別ディスカッション、発表会準備
7月21日(水)	発表会、修了式

- (5) テ ー マ ①環境 ②情報 ③国際社会と企業 ④教育 ⑤ボランティア活動 ⑥伝統文化

国際青年育成交流事業について

(1) 概 要

皇太子同妃両殿下の御成婚を記念し、平成6年度から開始した事業であり、本年度が第11回となります。日本青年の海外派遣及び外国青年の日本招へいの2つの事業から構成されており、「討議セッション」は、外国青年の日本招へいの一部となります。

(2) 外国青年招へいの主な流れ

7月12日(月)	来日
7月13日(火)～17日(土)	国際青年交流会議を含む東京セッション
7月18日(日)～21日(水)	討議セッション
7月22日(木)～29日(木)	ホームステイを含む地方セッション
7月30日(金)～31日(土)	東京セッション
8月1日(日)	離日

II 募集について

1 応募資格

- (1) ディスカッション可能な英語能力を有すること。
- (2) 全日程参加可能であること。
- (3) 年齢は20歳から35歳の者。
- (4) 選択したテーマについて討議可能な経験、知識を有すること。
- (5) 開催国参加青年としての自覚を持ち、円滑なプログラム運営に協力できること。
- (6) 国際青年育成交流事業（海外派遣）参加申込みをされている方も参加できます。



2 募集人員 約60名

3 共通言語 英語

4 募集方法

(1) 提出書類

ア 参加申込書（内閣府のホームページ（<http://www8.cao.go.jp/youth/koryu1.htm>）からも様式をダウンロードできます。）

イ 課題の作文

- ・英作文：志望動機を600～800 wordで述べてください。
- ・和作文：第1志望として選択したテーマに関して、今、あなたが最も注目していることに関して、1,000～1,200字で、あなたの意見を述べて下さい。
（書式は、いずれも縦A4判横書きとし、題名及び氏名を明記すること。（題名及び氏名は字数に含みません。）なお、作成に当たっては、パソコン、ワープロの使用も認めることとします。）

(2) 提出方法 内閣府（青年国際交流担当）へ郵送

(3) 締切 平成16年5月31日（月）消印有効

(4) 参加費 無料（宿泊、食費、プログラム中の移動費などの経費は主催者負担。
開催会場までの交通費は本人負担。）

(5) その他

- ・提出書類は返却しません。
- ・参加が決定した場合は、情報交換のため、事務局が設定するメーリングリストに登録します。また、それに伴い、氏名を他の参加者に公開します。その他の情報については、必要に応じて、了解をいただいた上で公開します。

5 決定通知 選考の結果は平成16年6月中旬までに本人に通知します。

(参考)

討議セッションのテーマについては、アドバイザーとの協議を経て、参加する皆さんとの間で作り上げていくものですが、本年度の国際青年育成交流事業の統一テーマが「グローバリゼーションと共生」であることから、それぞれのテーマでは、例えば次のようなことを話し合うことが考えられます。

- ① 環境：環境教育を通じた持続可能な社会作りについて
- ② 情報：プライバシー保護や情報の安全性確保などを通じた情報社会の健全な発展について
- ③ 国際社会と企業：現代の国際社会における企業の果たすべき役割とは
- ④ 教育：他者への思いやりと高い志を持つ青年の育成について
- ⑤ ボランティア活動：自ら積極的に参画していくためには、どうすればよいかについて
- ⑥ 伝統文化：独自の文化をいかに次世代に伝えるかについて

～ 16th SSEAYP International General Assembly in Malaysia ～

☆ 日程：平成16年4月28日（水）～5月2日（日）

☆ 場所：マレーシア（クアラルンプール&マラッカ）

☆ プログラム：

<1日目> 参加者到着

<2日目> 開会式・総会・ワークショップ

<3日目> 市内観光（サイバービュー、首相官邸、
マルチメディア大学 など）

A'Famosa Resort（マラッカ）への移動

<4日目> A'Famosa Resort にてリクリエーション・閉会式

<5日目> 参加者帰国

*ランカウイ島へのオプションツアー
（別途料金 US\$80、4日まで）

参加者募集中！



☆ 参加費：（プログラム参加中の食費、宿泊費、参加費が含まれます。）

お部屋タイプ	早期申込み <4月4日まで>	通常申し込み <4月5日以降>
2人部屋使用	US\$180.00	US\$200.00
1人部屋使用	US\$286.00	US\$306.00

☆ 早期申込み期限：4月4日（日）まで ・最終申込み：4月18日（日）まで

☆ 申込み方法：参加ご希望の方は詳細資料を IYEO 事務局からお取り寄せ下さい。申込みは各同窓会を通して行われますので、個人でのマレーシアへの直接の申込みはされませんようお願いします。

☆ 航空券：マレーシアへの往復航空券は、参加費に航空券代は含まれていません。各自で用意していただくか、参加申込みの際にお求め下さい。

<IYEO SIGA 係>

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 2-35-14 東京海苔会館 6階

Tel:03-3249-0767 Fax:03-3639-2436 E-mail: siga@iyeo.or.jp 担当：赤澤・渡辺



日本国際交流機構 第20回全国大会 佐賀大会

◆ 日程：平成16年11月6日(土)～7日(日)

◆ 場所：佐賀県 龍登園

佐賀県佐賀郡大和町大字梅野120)

TEL:0952-62-3111(代表)

URL: <http://www.ryutouen.co.jp/>

◆ 問い合わせ先:

佐賀県青年国際交流機構事務局(下村)まで

toshiaki@shimomurakensetsu.com

～IYEO20年の歴史を記念する全国大会です。パルーンフェスタあり！川上峡温泉あり！

佐賀(さが)を探(さが)しに来てください！みなさまのお越しをお待ちしております！～



日本青年国際交流機構 平成16年度ブロック大会について

IYEO ブロック大会は毎年ブロック毎に一度開催されております。平成16年度各ブロック開催日程をお知らせします。詳細概要は、ブリティンボード、案内郵送等によってご連絡いたしますので、ぜひとも御参加下さい。

ブロック	開催地	ブロック構成都道府県
北海道・東北	山形県	北海道・青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島
関東	東京都	茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨
北信越	福井県	新潟・長野・富山・石川・福井
東海	愛知県	静岡・愛知・岐阜・三重
近畿	和歌山県	滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山
中国	鳥取県	鳥取・島根・岡山・広島・山口
四国	高知県	徳島・香川・愛媛・高知
九州	佐賀大会 (全国大会)	福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄

平成 15 年度 内閣府青年国際交流事業 事業報告会

◎ 第 30 回「東南アジア青年の船」事業

～東南アジア経由 未来行き 共通言語：アジア語 参加資格：アジア人～

日時：2004年3月14日(日) 13:00～16:30

会場：(独) 国立オリンピック記念青少年総合センター
国際交流棟 1 階 国際会議室 (会場は両日とも共通)
参加費：無料

【申込み方法】

参加を希望される方は、お名前、参加希望事業名、参加事業／紹介者、連絡先を御記入の上、下記の問い合わせ先まで郵送、電話、FAX、E-mailにてお申込みください。

〒103-0013

東京都中央区日本橋人形町 2-35-14 東京海苔会館 6 階

(財) 青少年国際交流推進センター 「事業報告会係」

TEL:03-3249-0767 FAX:03-3639-2436

東ア船担当：渡辺、下津、藤井 (sseayp@iyeo.or.jp)



編集後記

春を感じさせる日差しになってきました。毎年ですが、事業募集に時期を迎えて新しい出会いを期待する気持ちが膨らみます。皆さんが、捕まえ

ることができたチャンスを、これからの人にも広く伝えてください。今号が、そのための情報提供の一助となれば幸いです。

* 本誌の年間講読をご希望の方は、財団法人青少年国際交流推進センターまで葉書又はFAXにてお申込み下さい。年間講読料は1,500円です。

MACROCOSM (マクロコズム) 3月号 Vol.57 2004年3月1日発行 (隔月発行)

編集：マクロコズム編集委員会

発行：財団法人 青少年国際交流推進センター

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 2-35-14

TEL 03-3249-0767

FAX 03-3639-2436

e-mail hq@iyeo.or.jp

URL <http://www.centerye.org>

<http://www.iyeo.or.jp> (IYEO)

編集協力：内閣府政策統括官

(総合企画調整担当)

日本青年国際交流機構

定 価：225円 (本体 214円)

印刷所：株式会社 絢文社

TEL 03-3959-3960

「国際青年育成交流」事業 (事業説明 P.16 参照)

皇太子殿下の御成婚を記念して平成6年度から開始された本事業は、今回で10回を迎え、本年は、ドミニカ、モロッコ、ミャンマー、ルーマニア、トルコの5か国に派遣されました。各団は、団長、副団長及び12名の団員で構成されています。厳しい世界情勢の中での派遣ではありましたが、関係者の皆様の御尽力により事業を無事終了することができました。

▼ 大統領宮殿にて



▲ サン・ペトロ市長を表敬訪問

〈ドミニカ〉



▲ 老人ホームを訪問「風になりたい」を一緒に歌う



◀ サントドミンゴ自治大学の学生との交流 (炭坑節を踊る)

〈モロッコ〉



▲ 私立小学校にて、子供たちとの交流



▲ 青少年更生施設にて
子ども達にけん玉を教える



ホームステイにて

▼ 茶道を紹介し、茶を勧める団員



青少年教育に携わるマワヒブ・アソシエーション
との意見交換

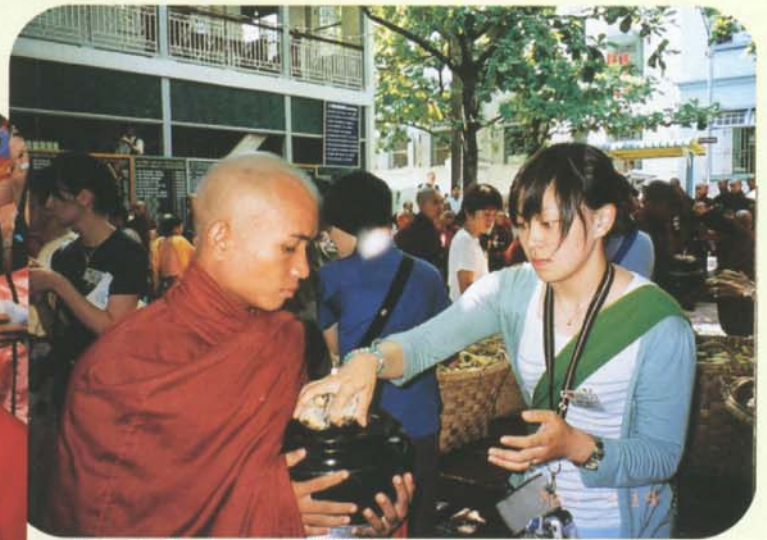




〈ミャンマー〉

USDA本部でウー・タン・
シュエーUSDA書記への
帰国の挨拶

National Rale 大学
▼ 仲良くなった友達との別れ



▲ マハガンダーヨン僧院にて
寄付のお手伝いをさせていただく

University for Development
of National Races 訪問
たくさんの民族がいること
を実感



国際青年育成交流事業



クルージ市にて
市長への表敬訪問



▲ ブカレストにて
ギャラリーを見学



▲ スチャヴァにて、青年組織（ARSIS）メンバーとのディスカッション

▼ ダンスを教えてもらおう



◀ ルーマニア青年の家にて

ルーマニア青年の家でのパーティ
▼ 伝統料理ミティティを作る



〈ルーマニア〉



▲ アンカラ副知事への表敬訪問



▲ トルコ受入れ青年団との懇談



ボスフォラス海峡クルーズ ◀

<トルコ>

トールク・テレコム・アナドル高校にて書道紹介 ▼



エンカ学校にて茶道を披露 ▶





派遣出発前に全員で



僧侶の音楽と踊りを体験
(ティプスステイにて)

▼ サムジョンガクにて茶道体験



▼ 水墨画に挑戦 (テンブルステイ2日目より)



◀ ロッククライミング体験 (ピコンチャン修練院にて)



▼ 韓国科学技術院にて学生と討論



おいしいとこどり、にっぽん丸。

いちばん美しい季節に、日本の風景をゆったり楽しむクルーズへ！
北から南まで、多彩なコースをたくさんご用意しました。

感動の航海をお約束する【にっぽん丸】クルーズ

詳しいパンフレットをご用意しております どうぞご請求ください。

春爛漫、桜並木と光る海 **週末利用**

春の伊勢志摩クルーズ

2004年4月9日(金)～4月11日(日) 3日間 **82,000円～304,000円**
クルーズ 横浜～鳥羽～東京
クルーズ (ステートルームB3名1室使用) スイートルーム 2名1室使用

4月、沖縄はもう夏の始まり。美しい海をたっぷりと楽しむ

魅惑の沖縄アイランドクルーズ

2004年4月12日(月)～4月24日(土) 13日間 **627,000円～2,124,000円**
クルーズ 東京～神戸～豊良間～那覇～石垣～宮古島～神戸～東京
クルーズ (ステートルームB3名1室使用) スイートルーム 2名1室使用

新緑の季節に四万十川と歴史の島・巻岐へ

薫風の宿毛湾・巻岐と瀬戸内海クルーズ

2004年5月20日(木)～5月23日(日) 4日間 **127,000円～508,000円**
クルーズ 神戸～宿毛湾～巻岐～神戸
クルーズ (ステートルームB3名1室使用) スイートルーム 2名1室使用

太平洋へ、世界遺産候補の美しい海へ

初夏の小笠原クルーズ

2004年5月24日(月)～5月29日(土) 6日間 **174,000円～698,000円**
クルーズ 名古屋～父島(二見)～名古屋
クルーズ (ステートルームB3名1室使用) スイートルーム 2名1室使用

※最少催行人員：各コース2名

※詳しい旅行条件を説明したものをお渡ししていますので、事前にご確認の上、お申し込みください。

※添乗員は同行しませんが船内ではスタッフがご世話をします。

※注1：熟年割引代金の設定があります。 注2：早期申込割引代金の設定があります。



ハタンゲルフィヨルド(ノルウェー)
Photo Mike Loughe



客室(スイートルーム)



客室(デラックスルーム)



客室(ステートルーム)



イメージ



イメージ



イメージ

商船三井客船

ボウド保証会員
海上交通大臣登録旅行業第1405号
日本旅行業協会正会員
三倉ビル5F

クルーズ
デスク

0120-791-211

クルーズデスク
フリーダイヤル
0120-791-211

冒険する生活
にっぽん丸

〒107-8532 東京都港区赤坂1-9-13

http://www.mopas.co.jp

美しい時代へ — 東急グループ



旅も楽しめる合宿にしたい。



急に1週間の全国出張になった。

ひとりひとりに、満点旅行。

ONE
to
ONE



家族水入らずで楽しめるプランを。



北から南まで温泉三昧したい。

商品力、サービス力、情報力、3つのパワーで、あなたの旅をさらに快適に。

どんな旅でも、東急観光はすべてのお客様に満足していただきたいと願っています。そのために、オリジナル旅行や団体旅行など、多彩な商品をご用意。IT活用による最新情報入手から24時間予約まで、リアルタイムな体制でお応えします。そして旅を熟知した私たちのひとりひとりが、お客様の旅を親身になって考えます。

 **東急観光**

国土交通大臣登録旅行業第38号
日本旅行業協会正会員・ボンド保証会員
〒153-8550 東京都目黒区東山3丁目8番1号
<http://www.tokyukanko.com>
<http://tour.tokyu.com>

マクロコズム 2004年3月号 通巻五十七号隔月発行

定価二二五円(本体二二四円)

編集協力 ..

内閣府政策統括官
(総合企画調整担当)
日本青年国際交流機構